



エコが千代田の自慢です!

エコチヨ



千代田のエコを推進しよう!



Vol.4
2016秋号

セミの羽化の様子

① → ② → ③

区の児童館と連携し7～8月に日比谷公園で実施したセミ羽化観察会の記録です。

《特集》環境インタビュー

都心千代田における生物多様性の取組みに期待されるもの
～インタビュー～ 亀山 章氏;東京農工大学名誉教授





環境インタビュー

～都心千代田における生物多様性の取組みに期待すること～

《テーマ》

千代田区と生物多様性について

千代田区は、平成25年3月に区の生物多様性地域戦略として「ちよだ生物多様性推進プラン」を策定し、自然と共生した地域社会の発展をめざし、様々な取組みを始めています。

今回は、その推進プランの策定に携わった亀山章さんに「千代田区と生物多様性」について、お話を伺いました。



亀山 章氏：東京農工大学名誉教授

公益財団法人日本自然保護協会理事長など
千代田区生物多様性推進会議座長として
「ちよだ生物多様性推進プラン」策定に携わる

生きものに境界線はない

【事務局】 まず最初に「都心における生物多様性」について、先生のお話を伺いたと思います。

【亀山先生】 東京の都心部について考える都市行政がない、ということを感じています。昭和18年に東京府と東京市が一緒になって東京都がつくられ、戦後しばらくは東京都が東京市の23区の行政をやっていたのですが、区が独立してきた今日では、地域を広く見ていく行政がないと思っています。

特に生物多様性を考える場合に、まとまりで考えることが大事です。ひとつの区だけでは考えられないですね。千代田区だったら、台東区、文京区、港区、新宿区などと接しています。特に生きものはネットワークが大事で、生きものどうしがつながりをもっているところを利用して、行き来しています。ですから、それを考えると、区が周辺の区と連携して取り組んでいくこ

とが、都心における生物多様性を考えるときに一番大事なことになります。

【事務局】 他区との連携が大事なわけですね。

【亀山先生】 そうですね。今は神田川で隔てられていますが、江戸時代より前は駿河台の台地と本郷台地はひとつながりの台地でした。文京区とつながっていたのです。それが400年前に江戸城の外堀として切られてしまい、ひとつながりだったものが、分かれてしまった。区^{くざい}界は、人が分けていますよね。今の区界は江戸時代の土地利用に基づいて分けていて、自然環境を考慮していません。

市町村はそうでもなくて、市の境が川であったりして、自然で区切られている境界を持っているから、生物多様性を考えるときには、まとまって考えやすいところがあるのです。区部は、自然で区切ったものではないことを考えると、周辺地域と連携することは大事なことでと思います。



皇居の自然と生きものの 潜む隠れ家



【事務局】 次に千代田区の特徴は、どのように感じていらっしゃいますか。

【亀山先生】 ひとつは、東京で自然が最も豊かな皇居を持っているというのが、千代田区のすごく大きな特徴であり、誇りでもあると思います。皇居というと、両陛下がおられる吹上御苑と、旧江戸城の本丸、二の丸あたりの、いわゆる皇居の部分と、その周辺の皇居前広場や北の丸公園、千鳥ヶ淵という、周りを含めた全体としての皇居のエリアがありますが、このエリアは生きものにとってとても大事な場所で、非常に豊かな自然があるところです。

もうひとつ。生きものは、その場を中心として、周辺地域ににじみ出てくるし、潜んでいることもあります。例えば、牛ヶ淵や坂下門のところの濠にも、ヘイケボタルがいます。それらのホタルは、多分、長い間潜んで生きてきたのだと考えられます。

坂下門の付近で、環境省が皇居前広場の夜間の明るさを測ったところ、1ルクス以下でした。この明るさは、ほぼ真っ暗です。ホタルは自分の光より明るい光があると、視野全体が明るくなってしまい、相手のホタルを見つけられないのです。1ルクス以下の明るさが大事なことなのです。牛ヶ淵も、濠の周辺は照明がないから、潜んでいられた。そのような場所を大事にしていかなければいけない。生きものが豊かな皇居があると同時に、潜んでいるところが結構あるのが、千代田区のおもしろいところだと思います。

上智大学の外側でテニスをやっているグラウンドは、第二次大戦までは外濠でした。そこに戦後、がれきを埋めたのです。だから、がれきを取り除けば濠にもどるのではないのでしょうか。近くの土手は、毎年同様な管理を続けているから、生きものがたくさん潜んでいると思います。

駿河台の錦華公園の周辺は、あまり気がつかないけれども、飯田橋の方から崖が続いています。そういう

ところは、土地が改変されていないので、生きものが潜んでいる可能性が高い場所です。

神田川は、もともとの河川を江戸城の外濠として掘ったのですが、隅田川につながり、さらには海につながっています。隅田川は荒川の分流ですから、荒川ともつながっている。荒川は秩父の方から流れてきている川ですから、そういったつながりもあるわけです。最近では、水がきれいになって、アユがいたりします。そう考えると、水の中の自然も豊かである可能性があると思います。



錦華公園の池



そのように、思いのほか豊かな自然があったり、豊かな自然にまだ潜んでいたりするところがある、千代田区の特徴だと思いますね。

ですから、それを大事にしていくことが必要だと思います。



それぞれの立場でできること



【事務局】 次に、「千代田区の生物多様性推進プランについて」お伺いします。

【亀山先生】 プラン全体の体系としては、2050年を見据えた長期目標を持っていて、2020年を短期目標としているところが、大事なことだと思います。一般に、2020年を短期ととらえる考え方ができなくて、2020年は中期に見据えることが多いのですが、期間を長くとらえることは、生きもののことを考えるときには大事だと思います。

もうひとつは、「それぞれの立場でできること」として、区民、事業者、大学や環境団体、また国や都にできることを述べています。それぞれの関係者ができることを明確にして、できるだけ多くの方々に参加してもらうことを目指しています。

このことについては、例えば、三井住友海上のECOM駿河台などが積極的に動いていますし、明治大学は駿河台キャンパスの周辺の自然を調べようとしています。法政大学もそういう意識を持っておられるようです。そういう点では、それぞれの立場でできることを示したことは、意味があったように思います。



まず調べることから始めよう

【事務局】 最後に「千代田区の今後に期待すること」はいかがでしょう。

【亀山先生】 取組みを進めるために大事なのは、まず千代田区の自然の豊かさを自覚すること。そのためには、まず調べることから始める必要があります。今、区が行っている「生きものさがし」は、3年間続けてやっていますし、それから、千代田学として取り組まれている大学の研究室もある。生きものはいないと思っていたけれど、調べてみるとそうでもないということを自覚していただくことが大事だと思うのです。

次は共有です。その生きものの情報を、皆さんで共有していただくことが大事です。

さらに次に、もっとよくすることを考える。これは、区がやるだけではなく、企業や大学などと協力して行うことも大事です。先日オープンした紀尾井町の東京ガーデンテラス紀尾井町の敷地には、まだホテルはいないのですが、ホテル用の水路ができています。このような再開発にも、生きものへの配慮が大事だという自覚を持ってくれるところが大切なことです。推進プランをつくったことが、民間の取組みに対しても影響

していると思います。それから、区が構想している「エコセンター」は、たぶん調べることから共有することにつなげていくための、大事な施設になると思います。

そういう点で今後にはとても期待していますし、まだまだ良くなる、ずっと良くなると思っています。

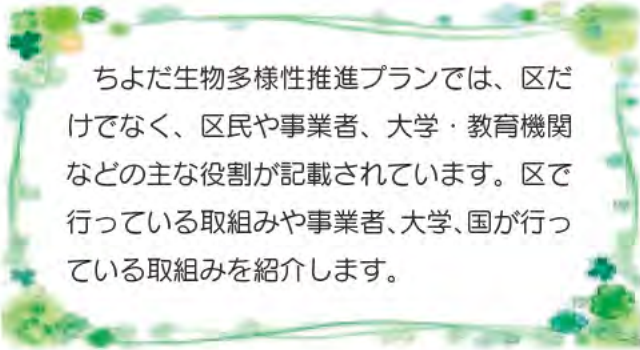
【事務局】 わかりました。ありがとうございます。今日の先生のいろいろなお話を伺いまして、区としてもさらに生物多様性の推進について頑張ってまいりたいと思いますので、今後ともお力添えよろしくお願いいたします。



千代田区の街並みと街路樹



千代田区内の生物多様性に関する主な取組み



ちよだ生物多様性推進プランでは、区だけでなく、区民や事業者、大学・教育機関などの主な役割が記載されています。区で行っている取組みや事業者、大学、国が行っている取組みを紹介します。



【大学の取組み】

① 区内のビオトープと生きものに関する調査 (明治大学：倉本ゼミ)

2014年度からビオトープのつながりと生きものの生息の関係や、野鳥が運ぶ種子についての調査を実施し、2016年度は「ビオトープネットワークの区民への普及活動」を行います。

② 都市の自然・生物をテーマとした実践教育の試み (法政大学：高田ゼミ)

2014年度から野鳥・緑地・水辺・生物文化・東京湾などをテーマとした自然研究を実施し、都市の自然の魅力を発掘しています。2016年度は「緑・水辺・生き物による千代田区の魅力化」がテーマです。



【区の取組み】

① 生きものさがし

緑や水辺環境の指標となる生きもののモニタリング調査を、区民参加で6月から10月にかけて行っています。

② セミ羽化観察会の実施

区の児童館と連携しセミ羽化の様子を観察するイベントを開催し、生きものを身近に感じる機会を設けています。

③ 大径木の保存

生きものの生息に寄与する大径木の保存制度構築のため、区内の大径木調査を行います。

④ ヒートアイランド対策助成制度の拡充

従来の助成制度に生物多様性の視点を取り入れ、在来種を植栽した場合に助成額の上乗せを行います。

⑤ 情報ネットワークの構築

区内の大学や環境活動団体間の連携を進めるため、環境連携会議を定期的で開催しています。

⑥ アダプトシステムの推進

地域が主体となり、公園や道路の草花の植え替えや清掃を行っています。



【事業者の取組み】

① 在来種植栽などの取組み

(三井住友海上火災保険・ECOM 駿河台)

敷地内で生物多様性に配慮した緑化や住民参加による自然観察会を実施しています。

② 大丸有地区生きもののモニタリング調査

(大丸有環境共生型まちづくり推進協会など)

周辺企業就業者や来訪者を含めたモニタリング調査を実施しています。



【国の取組み】

① 皇居の濠の水質浄化

(環境省皇居外苑管理事務所)

平成7年度から浄化施設による水質浄化を始め、平成25年度から新たな施設の稼働を開始しました。現在では水質が改善され、水生植物が増えています。2020年に向けさらなる取組みを進めています。

環境作品展代表作品

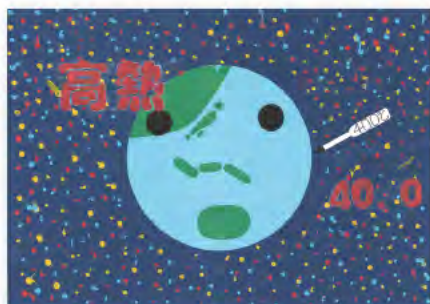
環境作品展は、省エネ・環境保全などさまざまな視点から地球温暖化防止の呼びかけを目的として開催しています。区立小学校の児童が作成した環境啓発ポスター 356 枚と区立中学校・中等教育学校の生徒が考えた環境標語 1,017 点の応募がありました。



麹町小学校5年 石橋 優子さん



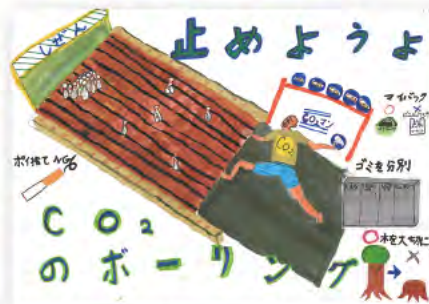
九段小学校6年 川又将海さん



富士見小学校5年 葛和 建世さん



番町小学校5年 堀内 美佳さん



昌平小学校5年 伊原 光祐さん



千代田小学校5年 石丸 百香さん



和泉小学校4年 中山 春佳さん



お茶の水小学校5年 町田 優さん

麹町中学校	1年	鈴木 菜月さん	気づいてる? 毎日地球は 熱中症!!
麹町中学校	2年	長嶋 ららさん	オンオフが 未来を変える 小さなスイッチ
麹町中学校	2年	西村 弦起さん	花はさく ちきゅうにしよう
麹町中学校	3年	西村 大翔さん	俺たちに 地球の未来が かかっている
神田一橋中学校	3年	丸山 有羽さん	節電だ スイッチ一つ 押すだけで
神田一橋中学校	3年	平賀 柚衣さん	CO ₂ 一人が「一」減らせれば みんなで沢山減らせるよ
神田一橋中学校	3年	中込 楓さん	エコバック 持っておでかけ エコライフ
神田一橋中学校	3年	林 遼さん	ストップ温暖化!! キミにできることは なんだろう?
九段中等教育学校	2年	三橋 奎斗さん	地球の熱中症を 直そう!!
九段中等教育学校	2年	矢嶌 恵奈さん	水を流しっぱなしにしていると 地球は涙を流してる
九段中等教育学校	3年	北畠 美侑さん	君が今押すそのボタン 地球にとっては一大事
九段中等教育学校	3年	松村 実結さん	学ぼうよ 昔の人の 涼む知恵

セミ羽化観察会

「ちよだ生物多様性推進プラン」の普及啓発事業の一環として、7月29日(金)と8月5日(金)に日比谷公園でセミの羽化観察会を行いました。2日間合計で128名が参加しました。



感想

(保護者) セミが日比谷公園にたくさんいることに驚いた。千代田区の自然の素晴らしさを感じた。
(子ども) 羽化したセミは緑っぽくて驚いた。セミの抜け殻を触ったのが楽しかった

■千代田区建築物環境計画書制度

◇建物の環境配慮について事前協議を行っています。

区は平成 28 年 10 月から、区内で建物を建てる際に地球温暖化対策をはじめ環境に配慮した建築計画としていただくため、計画が固まる前から、事業者の方々と事前協議を行っています。

協議目標は、省エネ法における一次エネルギー消費量基準よりも 35% の削減（CO₂ 削減効果 35%）で、目標達成に向けたインセンティブとして助成制度を設けています。

事前協議の内容



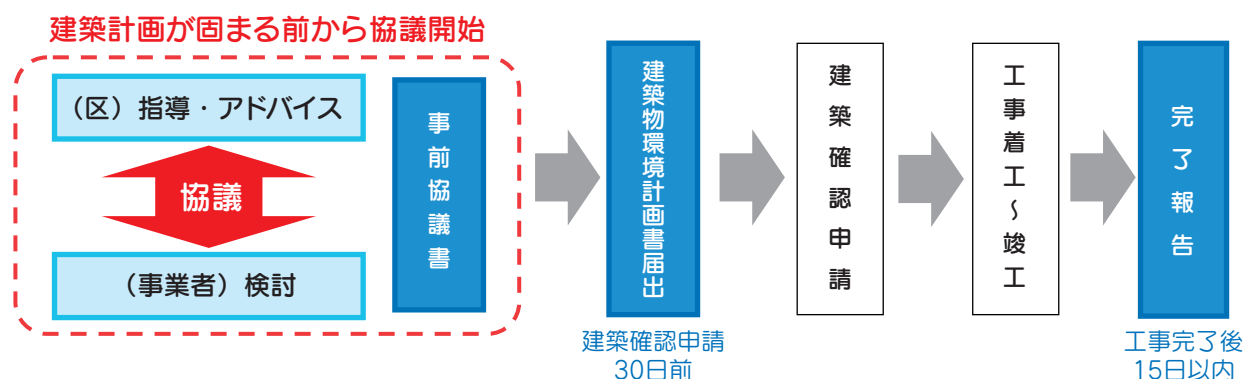
① CO₂ 排出量削減対策

- ・建築物の熱負荷の低減
- ・設備の省エネルギー化
- ・創エネ手法の導入
- ・未利用・再生可能エネルギーの活用
- ・面的エネルギーの活用

② 環境負荷低減の取組み

- ・オゾン層の保護等
- ・緑化等の被覆対策等によるヒートアイランド現象の緩和
- ・雨水の地下浸透や中水利用等による水循環
- ・緑化による緑の量と質の確保
- ・生態系への配慮

手続きの流れ



建築物環境性能表示

CO₂ 削減効果の数値により、優良建築物として評価します。

- ・ CO₂ 削減効果 35% 以上の場合
『特別優良環境建築』性能表示
- ・ CO₂ 削減効果 20% 以上の場合
『優良環境建築』性能表示



平成 28 年 4 月 一般社団法人 千代田エコシステム推進協議会 に生まれ変わりました！



理 事 長：大森 正之
(明治大学政治経済学部 教授)
副理事長：秋山 利昭
(千代田区商店街振興組合連合会代表理事)
副理事長：山田 勝己
(株式会社DOWIN 代表取締役)
他 理事 7 名 監事 2 名

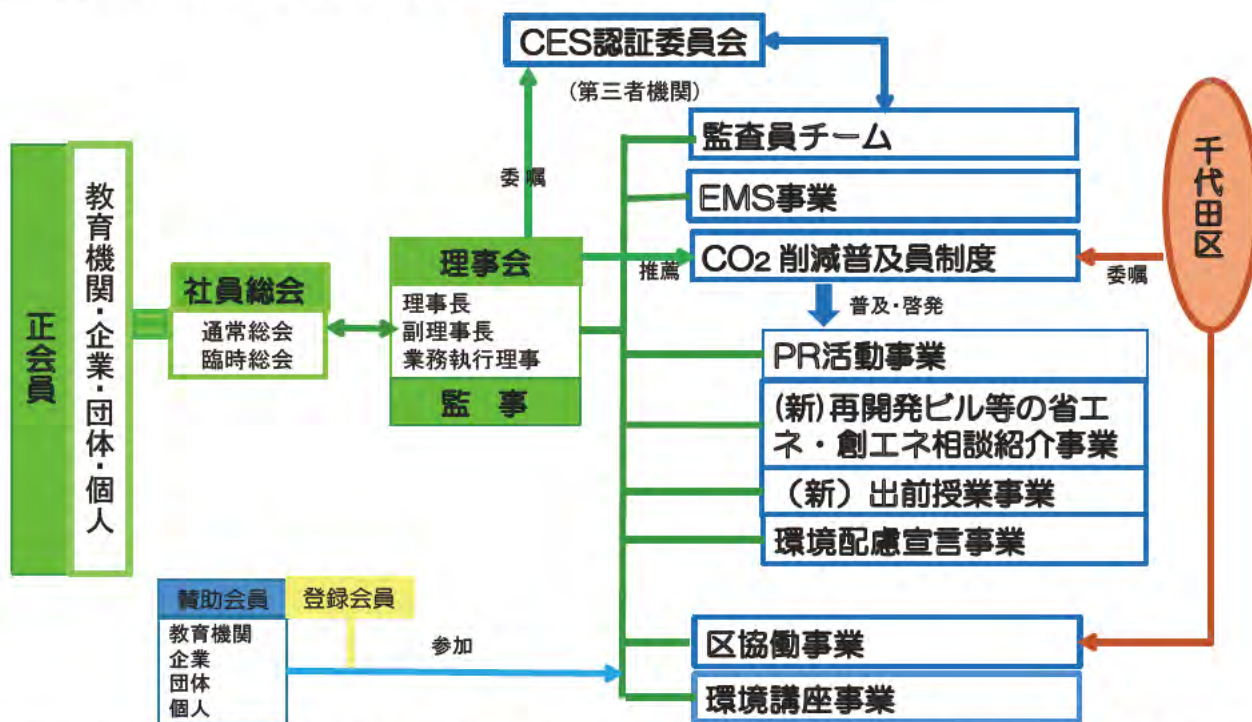
5 月 18 日 (水)、一般社団法人 千代田エコシステム推進協議会の第一回社員総会が開かれました。

まず理事が選任され、その中から、理事長、副理事長が選任されました。

その後、出席された会員各位も交え、一般社団法人化した後の推進協議会の役割や運営方針について決定されました。

当協議会では、千代田区の区民、企業、教育機関、行政などが協働し、千代田エコシステム (CES) 等環境マネジメントシステムの普及、推進を行い、地球温暖化対策や地域の環境改善に寄与することを目的として、以下のような事業を行ってまいります。

- (1) 地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業
- (2) 千代田エコシステム等環境マネジメントシステムの運用及び推進
- (3) 環境教育等による人材育成
- (4) その他地球温暖化対策に寄与する事業 など



今後は、「CO₂削減普及員制度」や、「再開発ビルなどの省エネ・創エネ相談、紹介事業」「出前授業事業」等にも、順次、取り組んでまいります。

推進協議会活動報告

●ちよだ・つま恋の森づくり植樹ツアー 平成 28 年 5 月 21 日(土)～22 日(日)



今年も、群馬県碓氷村で植樹ツアーに参加しました。「なぜ、木を植えるのか?」「山を守るのはなぜか?」「1本のミズナラが80年間でどれくらいCO₂を吸着するか?」など、バスの中で参加者の方々に答えてもらうクイズは好評で、森の働きを理解した上で、参加者がミズナラを植樹しました。

他にも、植物や生物の観察などを通じて、参加者の環境への理解が深まりました。

●『環境・リサイクル祭り』で「うちエコ診断」 平成 28 年 6 月 10 日(金)

今年の『環境・リサイクル祭り』では、来場者に「うちエコ診断」を受けてもらいました。

普段の生活で、電気やガスをどんな風に使っているのか、冷暖房の使い方などの質問に答えていくと、それぞれの家庭に合った省エネ生活の提案をもらえるので、「参考になった」という感想が多く寄せられました。



この診断を受ける待ち時間に、千代田区独自の環境マネジメントシステム(CES)や、それを推進する協議会について説明しました。多くの方に賛同をいただき、会員の新規登録をしていただきました。

新しく登録会員になられた方には、「ひつじの会」製作のアクリルタワシをプレゼントしました。

● 8月1日は「区内一斉打ち水の日」

8月1日(月)、雲の多いお天気でしたが、千代田区役所前の広場で、「区内一斉打ち水の日」のイベントに参加しました。

今年は、区内在学中の大学生が、自作の浴衣を着て参加し、小さな子ども達も来てくれて、会場はとても賑やかで、華やかになりました。



水遊びが大好きな子ども達は大活躍。

ゾウさんじょうろで、どんどん水をまいていきます。自分たちもびしょ濡れになりながら楽しんでくれました。

こちらのゾウさんじょうろは、8月中、区役所前の打ち水に参加した子ども達にプレゼントされていたので帰る時もお機嫌でした。



推進協議会の会員の方々も、浴衣で集まり、一緒に打ち水をしました。

今回の打ち水では、雨水などをろ過・殺菌処理した中水を利用しています。

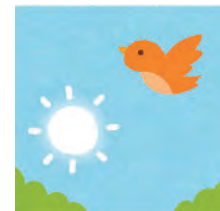


打ち水後の体感気温が下がる効果を実感して、最後に、会員さん達と集合写真。

推進協議会事務局スタッフは、この後も、8月中、区役所前の打ち水に随時参加しました。

打ち水の効果は思っていた以上に大きいので、機会があったら、是非、お試しください。

2016年度 下半期イベントカレンダー



～千代田区 環境まちづくり部環境政策課と
(一社)千代田エコシステム推進協議会のイベントを紹介します～

10月

環境作品展

10月14日(金)～21日(金)
場所：区民ホール(区役所1階)

区立小学校の児童が、「環境問題」をテーマに描いた環境啓発ポスターと、区立中学校・中等教育学校(前期課程)の生徒が、「地球温暖化を防ぐ」をテーマに作成した環境標語を展示します。
省エネ・環境保全などさまざまな視点から地球温暖化防止を呼びかける作品です。



10月

CES環境講座

10月26日(水)～11月26日(土)
(全5回)

ー 地球温暖化って、な～に? ー
地球規模でみる地球温暖化～千代田区の温暖化対策～個人では温暖化対策(CO₂削減)のために何を
するか!! を考えます。
好評受付中!!



《下記参照》

と き	内 容	講 師	場 所
① 10月26日(水) 18:30～20:30	基調講演 「地球温暖化とその最新動向」	気象庁地球温暖化情報官 戸川裕樹	千代田区役所 4F 401 会議室
② 10月29日(土) 14:00～16:00	「千代田区の温暖化対策」 「大丸有地区における環境対策」	千代田区環境政策課 課長 大塚光夫 三菱地所(株) 開発推進部 参事 奥山博之	千代田区役所 4F 401 会議室
③ 11月5日(土) 14:00～16:00	「気候変動と生物多様性」	環境省生物多様性施策推進室 室長 西山理行	千代田区役所 4F 401 会議室
④ 11月10日(木) 13:30～17:00	フィールドワーク	気象庁の24時間体制の 現業室と科学館の見学 大手町3×3Lab Futureで 大丸有の最先端の取組み を見学	気象庁24時間体制の現業室 と科学館 大手町3×3Lab Future
⑤ 11月26日(土) 13:30～15:30	ワークショップ 「あらためて考える 温暖化対策問題と私」	認定NPO法人 環境リレーションズ研究所 事務局長 平沢真実子	千代田区役所 4F 401 会議室
15:30～16:00	修了式		

11月

エコ&サイクルフェア/ 千代田のエコ自慢

11月19日(土)
場所：区民ホール(区役所1階) 他

環境を身近に感じられるイベントです。千代田区のコミュニティサイクル「ちよくる」や水素自動車に乗ったりできます。さらに、工作体験や自転車・家具の再生品の抽選会もあります。
CESでは、「エコとサイクル=循環」をコンセプトに、万華鏡作り、子供服交換会、アクリルたわし作りなど、楽しみながら3Rを体験できるブースを多数用意しております。



12月

エコプロ2016

12月8日(木)～10日(土)
場所：東京ビックサイト(東ホール)

エコプロ2016は、環境とエネルギーの未来展です。区は、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」*1
のブースに出展し、区の取り組みを紹介します。

*1 東京都内の全62市町村が
連携・共同して温室効果ガスの
削減やみどりの保全に取り組む
事業



ただいま企画中

CES 食育・エコレシピコンテスト

テーマは「朝食」
ー忙しいけれど みんなで朝食を一
食から CO₂削減を考えてみよう!!
(12月頃の募集となります)



エコの Point

- ・野菜はできるだけ皮付きのまま調理して、廃棄食材は0。
- ・加熱する食材は炊飯器で同時に。
- ・おろし金はアルミホイルやラップをまき、洗いやすく。
- ・茹でるときは、水を最小限とし、残り湯はそのままソースに。…etc. 一緒に知恵を出しませんか。

平成28年4月、千代田エコシステム推進協議会は、一般社団法人になりました!

千代田エコシステム推進協議会は、千代田区地球温暖化対策条例第13条の規定に基づき、千代田区が独自に構築した環境マネジメントシステム「千代田エコシステム(CES)」を通じて、区民・企業・教育機関・行政などが協働して、地球温暖化対策や地域の環境改善を推進する目的で、平成20年4月に任意団体(「権利能力なき社団」：法人格のない団体をいいます。)として設立されました。それ以来、8年間活動して参りましたが、この度、より活動範囲を広げるため、一般社団法人となり、法人格を取得しました。今後とも、今まで以上のご理解とご協力をお願い申し上げます。

会員募集中!

(一社)千代田エコシステム推進協議会では、当会の活動を支援して下さる会員を随時募集しています。

■年会費 (一般社団法人になっても、会費は変更ありません)

対象/会員種別	正会員	賛助会員
教育機関	60,000円	30,000円
企業(資本金1億円以上)	60,000円	30,000円
企業(資本金1億円未満)	20,000円	10,000円
上記以外の団体	10,000円	5,000円
個人	2,000円	1,000円



登録会員も募集中!

- ☆登録費用は無料!
- ☆エコに関するイベント情報やメルマガを配信します! エコ活動をこれから始めてみたい方もお気軽にどうぞ。

*入会方法他につきましては、(一社)千代田エコシステム推進協議会までお問い合わせください。

■会員企業・教育機関・団体(2016年10月現在、敬称略・順不同)

- (企業) 三菱地所株式会社、株式会社大塚商会、東京電力パワーグリッド株式会社銀座支社
東京ガス株式会社中央支店、東洋美術印刷株式会社、サンタックス株式会社
株式会社東畑建築事務所、前田建設工業株式会社、株式会社小学館集英社プロダクション
- (教育機関) 学校法人日本歯科大学、学校法人法政大学、学校法人専修大学、学校法人明治大学
学校法人大妻学院、学校法人二松學舎、学校法人東京家政学院
- (団体) 東京商工会議所千代田支部、千代田区商店街連合会、千代田区連合町会長協議会
公益財団法人まちみらい千代田、NPOエコスクール推進協議会、2×3スリーレグ
千代田区商店街振興組合連合会、神田駅西口商店街振興組合、エコピープル支援協議会、千代田区

以上

～『エコチヨ』へのご意見、ご感想はこちらまでお寄せください～

千代田区環境まちづくり部環境政策課

住所: 〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1
千代田区役所5階
電話: 03-5211-4255(企画調査係)
FAX: 03-3264-8956
メール: kankyouseisaku@city.chiyoda.lg.jp



(一社)千代田エコシステム推進協議会

住所: 〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1
千代田区役所5階
電話: 03-5211-5085
FAX: 03-3221-3405
メール: info@chiyoda-ces.jp



発行・編集: 千代田区環境まちづくり部環境政策課 / (一社)千代田エコシステム推進協議会
ロゴデザイン: 御茶の水美術専門学校 河内彩子様
発行日: 2016年10月1日

※本誌に掲載された情報は2016年10月時点のものです。掲載された記事・写真・地図・イラスト等の無断転載・複製を禁じます。

エコチヨは環境に配慮したインクを使用しています。



古紙バブル配合率100%再生紙を使用